

## 第 4 回会議でいただいた御意見等について

## ■関係事業者からの意見聴取

今後の観光振興施策についての方向性、取組イメージ等を把握するために観光関係の事業者や団体から、県が行うべき施策や事業及び取組みについて意見聴取を行った。

## 【関係事業者からの主な意見】

- ・観光産業の生産性を高めるため、最新の A I やロボット等を活用した生産性向上に県として積極的に取り組んでほしい。
- ・温泉の硫黄の影響で家電製品が壊れやすくなっており、客室にある冷蔵庫やテレビなど、年に 1 度買い替えが必要な状況である。設備投資への一部補助などの対策を検討してほしい。
- ・レンタカーで来る観光客が多く、今後も増加が見込まれるので、レンタカーの割引や、外国人の宿泊者も増えており、民宿等で外国語が話せない場合に備え、翻訳機の購入補助があると良い。
- ・被災地では、震災前のような居抜き物件が全然ないため、地元にいる若手が何か事業を興すという場合にも、ゼロから借金して商売を始めなければならない。チャンスを見つけて頑張りたいくても、金銭的余裕がないという方々に対して補助制度があるとよい。
- ・冬期観光のための集客施設について、商店街の近くに海水浴場があるので夏場は観光客も多いが、冬になると減少してしまう。近くに温浴施設等でもあれば、集客力も高まる。
- ・外国の方々からは W i - F i 環境が整備されていないと辛いという意見がある。市街地においては整備が進められているが、例えば、半島や離島などの店舗のない自然エリアにも今後整備を進めてほしい。
- ・三陸自動車道には道路のサインが少ない。それぞれの地域に行く部分の情報はあるが、その先に何かあるのかという情報がなく、例えば、観光情報をピックアップしたもの等をサインとして整備してほしい。
- ・労働力不足を解消するための施策として、観光業界で外国人労働者を活用し、その人達が地域の魅力を SNS で発信するなどできないか。
- ・地域のビジターセンターは自然公園について紹介する施設であるとともにオルレの出発地点でもあり、設置から 4 0 年近く経過し老朽化が激しいので、再整備をお願いしたい。
- ・若い人材を確保するというのが難しくなっている中で、例えば、地域に移住して地元の企業に 3 ～ 5 年という形で就業すれば住居の家賃を補助するなど、移住者にとって魅力的な条件を整えれば、もっと人が集まる要素になるのではないかと思う。
- ・沿岸部で民宿をやりながら、グリーンツーリズムの漁業体験を中心とした団体で活動している。懸案は会員の高齢化に伴う担い手不足であり、活動を続けていくのが難しくなっている。市から地域おこし協力隊として、何人か手伝ってもらっているが、今のままでは今後 1 0 ～ 2 0 年続けて行くのは難しい。人材の育成・募集を支援してもらえると助かる。